

第71回

全日本剣道選手権大会

天皇杯
授与

とき

令和5年

11月3日(祝)

午前10時開会
午前10時50分試合開始

ところ

日本武道館

(東京都千代田区北の丸公園2-1-3)

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとようとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

大会次第

1. 係 員 集 合 7 : 30
2. 選 手 集 合 8 : 30
3. 選 手 整 列 9 : 55
4. 役 員 ・ 審 判 員 整 列 10 : 00
5. 開 会 式 10 : 00~10 : 30
6. 日 本 剣 道 形 10 : 30~10 : 45
7. 試 合 1 回 戦 2 試 合 場 (各 16 試 合) 10 : 50~13 : 00
8. 試 合 2 回 戦 2 試 合 場 (各 8 試 合) 13 : 00~14 : 05
9. 試 合 3 回 戦 2 試 合 場 (各 4 試 合) 14 : 10~14 : 45
10. 試 合 4 回 戦 1 試 合 場 (4 試 合) 15 : 05~15 : 45
11. 試 合 準 決 勝 1 試 合 場 (2 試 合) 15 : 55~16 : 15
12. 試 合 決 勝 1 試 合 場 (1 試 合) 16 : 25~16 : 35
13. 閉 会 式 (表 彰) 16 : 45~17 : 10

開 会 式

1. 選 手 整 列 …………… 9 : 55
2. 役 員 ・ 審 判 員 整 列 …………… 10 : 00
3. 国 歌 斉 唱
4. 天 皇 杯 返 還 (レプリカ授与)
5. 優 勝 旗 返 還
6. 大 会 会 長 挨 拶
7. 関 係 者 紹 介
8. 試 合 上 の 注 意
9. 選 手 退 場 …………… 10 : 30

閉 会 式

1. 選 手 整 列 …………… 16 : 45
2. 役 員 ・ 審 判 員 整 列
3. 表 彰
4. 優 秀 選 手 発 表
5. 大 会 会 長 挨 拶
6. 退 場 …………… 17 : 10

第71回 全日本剣道選手権大会要項抜粋

1 趣 旨

剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた選手により、天皇杯の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

2 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

3 出場選手資格および人員

(1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している男子。

(2) 年齢は満20歳以上とし、段位の制限はしない。(年齢計算は、今大会前日の令和5年11月2日を基準とし、平成15年11月2日以前に生まれた者)

(3) 予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。

予選会出場者は、令和5年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

(4) 出場選手人員は次のとおりとする。

東京…4名

埼玉・千葉・大阪・福岡…3名

北海道・茨城・神奈川・愛知・兵庫…2名

その他の府県…1名

前年度優勝者…1名 計64名

4 試合・審判および試合方法

(1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法)に記載の試合方法による。

(2) 試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位(2名)を決定する。

(3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

5 表 彰

(1) 選手権者には、天皇杯・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。

(2) 第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。

(3) 優秀選手には、優秀選手賞を贈る。

(4) 出場選手には参加賞を贈る。

我が国の剣道の流れ

徳川幕藩体制の崩壊——明治維新の政道一新によって衰頹の一途を辿った剣道界は、明治28（1895）年、大日本武徳会の創立を転機として復興への曙光を見出し、次第に発展への途を歩み、昭和初期から10年代にかけて最盛期を迎えた。昭和4（1929）年には天皇の御即位の大礼を祝って天覧武道大会が催され、同9年には皇太子殿下御誕生奉祝天覧武道大会、同15年には紀元2600年奉祝天覧武道大会と前後3回にわたって全国から精鋭をすぐって大規模な優勝試合が行われた。この頃は日本の国勢が目覚ましい伸張とあいまって剣道の隆盛はその極に達した観があり、日本剣道史はじまって以来最も普及充実した時期であった。

しかるに第2次世界大戦の敗戦は、剣道界に潰滅的な打撃を与えた。日本占領の連合軍の施策の中にあって剣道は、手ひどい弾圧を受けた。学校教育としては全面的に禁止され、社会体育の場においても厳重な制限を受け、かつまた創立以来わが国武道界の総本山として武道の普及振興を一手に掌握してきた大日本武徳会は解散を命じられ、剣道界は全く火の消えたような状態となった。

昭和27（1952）年、わが国の独立が回復するとともに剣道復興の動きはにわかに活発となり、全国の剣道愛好者の熱烈な願いが実を結び、同年10月全日本剣道連盟が設立された。これによって長い空白時代を経て剣道は再び愛好者の手に戻り、剣道界再出発への基礎が確立された。

全日本剣道連盟は発足とともに剣道界再建のために活発な活動を開始した。すなわち新しい出発に際し、審判規則ならびに称号段位制度の制定や、諸制度の整備を行い、事業面では翌28年から京都武徳殿における剣道演武大会の復活をはじめ全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会の三大会を主催するまでになった。さらに居合道、杖道大会をも加え、国民体育大会には30年から正式種目として参加し、そのほか大学、高校、中学、少年錬成大会など共同主催8大会と後援30以上の大会をと広い分野にわたって剣道の普及振興に努めている現況である。

第一に剣道の国際的発展である——日本独特の剣道の世界的普及——しかも海外の剣道愛好者は単に剣道の技術の習得だけではなくむしろ剣道の真のよき、いわば剣道の心にひかれて剣道を行っている点に大きな特色がある。昭和45（1970）年国際剣道連盟が結成され、現在では62か国・地域が加盟し約100か国で活動している。国際剣道連盟結成と同時に第1回世界剣道選手権大会が開催され、2024年7月には第19回大

会がイタリア・ミラノにて開催される。また海外の愛好者が毎年来日して研修に努めており、全剣連ではこれらの人びとのために毎年、指導者講習会を日本で開催しているほか、海外各国に指導者を派遣して指導と交流に努めている。平成18年には国際競技団体連合（GAISF）にKendoとして加盟し、略称をIKFからFIKに改称した。

次に剣道界への女性の目覚ましい進出である。従来は男子は剣道、女子は薙刀というのが常識であったが、戦後女性の剣道界への進出は実に見張らせるばかりである。現在は下は小、中学生から上は高校、大学生、あるいは社会人に至るまで、その進出は著しく、令和4年度の剣道初段合格者30,970名のうち12,023名が女性であるという事実から見てもその進出振りがうかがえる。全剣連としては、昭和37年から全日本女子剣道選手権大会を開催している。また同時に学生界でも高体連は同38年から女子の参加を認め、全日本学生剣道連盟でも全日本女子学生剣道大会を男子の大会と併行開催している現状である。

第3の特色は少年剣道の目覚ましい隆盛である。戦後、特に昭和30年頃から剣道が隆盛になるにともなって少年の間に剣道熱が高まってきた。これは剣道のもつ特性が少年の人間形成に及ぼす影響に対する評価が認識されるにつれて、家庭におけるしつけの問題と関連して、道場に通わせて剣道を修めさせる家庭が多くなったのに起因するところが多いと思われる。これにともなって私設道場も各地に続々と設立され、毎年夏期に日本武道館において開催される少年剣道錬成大会には全国各地から父兄付き添いで数千名の少年剣士たちが参加し、錬成に励む姿はまさに熱気を帯びている有様である。この少年剣道の隆盛にともなって、近年の社会的特徴である家庭婦人にも剣道愛好者が増加した。その家庭婦人に剣道精進の励みを与えるとともに、生涯剣道の目標を与え、併せて青少年の健全育成に資するために昭和59年に第1回の全国家庭婦人剣道大会が開催され、平成20年第25回まで実施した。以後、家庭婦人のみならず、広く女子剣道人の大会として、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会とあらため、開催されている。

このように現在の剣道は剣道人口の底辺の拡大、国際的発展、女性も含めて青少年層への目覚ましい普及などに見られるように日本民族の輝かしい文化的所産として正しく認識され、確実な発展を歩み続けている。

あいさつ

公益財団法人全日本剣道連盟

会長 網代 忠宏



菊花薫る文化の日、日本武道館において、第71回全日本剣道選手権大会を全国各都道府県での予選を勝ち抜いた精鋭を迎え開催できますことは、誠に喜びにたえません。

本大会が開催できますのも、予選会開催などを実施して頂きました、各都道府県剣道連盟のご協力によるものであり、深く感謝申し上げます。

顧みますと戦後の困難な時代を乗り越え復興した剣道は、当時の予想を遥かに超える発展を遂げました。この歴史の中、すべての剣士に門戸を開いて行うことにした全日本剣道選手権大会の果たした役割は大きなものがあります。また、第6回大会（昭和33年）からは天皇杯を授与されることとなり、一般からも大きな関心が寄せられるようになりましたことは、剣道のレベルアップを後押ししました。これからも剣道の一層の普及発展を図るための諸施策を推進し、広く青少年の健全育成に寄与していく所存であります。

私たちは今後も「剣道の理念」に則った剣道の質の向上を図り、剣道の真髄を追及して普及発展に努めて参ります。更には、剣道指導の心構えの浸透を図ることにより、正しい剣道の指導を実践し、人造りに貢献するとともに、日本の伝統に育まれた剣道を、後世に継承させなければならないと考えています。本大会を通じ、より多くの方々に剣道の良さが伝わることを期待しております。

出場資格については、満20歳以上とし、段位の制限はありません。前年度優勝者及び各都道府県での予選を勝ち抜いた64名の剣士による大会となります。選手の皆さんは、郷土の榮譽を担い、多年にわたり錬磨された実力を大会の場において遺憾なく発揮されるよう切望いたします。そして、全国の剣道愛好者、海外で注目している剣道関係者、さらに将来、この全日本剣道選手権大会の出場・活躍を目標とする少年剣士たちへ、良き模範を示して頂くことをお願いいたします。

剣道関係者の郷土においては、災害・震災に遭われた地域もあります。代表剣士の皆さんには、日本を元気づけるような試合を展開して頂きたいと思っております。

結びに本大会の開催にあたり、ご後援を頂いたスポーツ庁・公益財団法人日本武道館・読売新聞社、主管団体として運営にご尽力を頂いた一般財団法人東京都剣道連盟、並びに関係各位に深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶と致します。

祝 辞

文部科学大臣 盛山 正仁



第71回全日本剣道選手権大会が、本日ここに開催されますことを心からお祝い申し上げます。

剣道は、我が国の長い歴史と伝統に培われた世界に誇る武道の一つであり、日々の稽古を通じて心身を鍛錬するとともに、相手の人格を尊重し、礼法を重んじる態度の育成を図るなど、豊かな人間形成に寄与するものです。

剣道が今日、国内外において子供から高齢者に至るまで、世代を超えて幅広い年齢層の人々から親しまれ、広く普及・発展するなど、国際的发展を遂げておりますことは誠に喜ばしいことです。

本大会は、各都道府県より選出された剣士が一堂に会し、剣道日本一を決める国内最高峰の大会であり、全国の剣士が目標とする憧れの舞台です。

選手の皆様には、日頃の修練の成果を存分に発揮されますとともに、大会を通じて全国の剣道を愛好する仲間と「交剣知愛」の輪を広げられ、本大会が心に残るすばらしい大会となることを願っております。

文部科学省としましては、アスリートや子供たちの活動の機会を守り、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。引き続き、皆様からの御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力された公益財団法人全日本剣道連盟をはじめ、関係の皆様に対し深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と剣道のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

大会役員（順不同）

大会会長	網代忠宏				
大会副会長	真砂威	藤原崇郎	千葉胤道		
大会特別顧問	盛山正仁	山口寿一	高村正彦	稲葉延雄	
大会顧問	遠藤利明	山下泰裕	露木康浩	小島裕史	山田隆
	大竹岳史	石谷護	川端達夫	太田健一郎	久保木優
	伊藤元明	上田憲幸	児嶋克	福本修二	大嶽將文
	小倉昇	忍足功	梯正治	黒郷源慈	小坂達明
	島野泰山	末平佑二	鈴木康生	中田琇士	牧瀬憲保
	三宅一志	目黒大作	宮坂昌之	宮坂信之	
大会参与	室伏広治	青山彩子	杉山大樹	小山孝	大澤芙由子
	齋藤隆宏	吉川英夫	武田牧雄	増田知幸	小松誠
	安部美知雄	小笠原宏志	井上雅勝	長谷川弘一	水田重則
	白石正範	小林一隆	栗原憲一	小林英雄	渡邊宏一
	荻荘誠	南信廣	大門進	片山外一	加瀬浩明
	二槁高弘	堤俊彦	中森博文	中野正堂	伊吹文明
	長榮周作	吉田克法	世耕弘成	神谷明文	藤田長久
	田中秀和	中西章	岸田芋	高木弘伸	三原悦男
	渡邊三則	藤川和秋	青柳俊彦	川上春生	三浦悟
	尾方正照	橋口光博	俣木正喜	植村裕之	塚本素清
	中本和洋	下村博文	土崎祐一郎	平井邦明	林直人
	沖山栄一				
大会委員長	中谷行道				
大会副委員長	蒔田実	香田郡秀	久保木優		
大会委員	上浦かなえ	軽米満世	佐藤厚子	篠原政美	高橋俊昭
	谷勝彦	内藤常男	長尾進	濱崎満	櫻井美香
	秋山知子	池田公律	井島章	太田健一郎	岡嶋恒
	小田佳子	笠村浩二	金井優子	木下博文	佐伯浩美
	高橋昭博	常田政邦	俊野徹人	成瀬朋恵	灰谷達明
	本多進一	武藤士津夫	山本洋一	横須ます子	吉岡成子
	吉田泰将	奈良隆	安保洋子	小風明	吉田篤生
	大高ラビンニユ	亀井徹	千葉胤道	百鬼史訓	浪岡大介
	舟木隆	水田重則	西川清紀	右田重昭	石井猛
	平尾泰				

競技役員割当表 (順不同)

実行委員長	蒔田 実					
実行委員	高澤 彰	伊藤 豊	松原 徹	小林晋一	加古 恵	高橋 嶺
(本部連絡員)	長濱直弥	斎藤 諒	松浦千恵	猪狩保光	佐々木宏介	入江亮太
北口受付係	清水結太	辻 修大				
(受付)	加古 恵	鈴木淳子	高森 毅	奥浦亜矢子	蓮見智世	
(案内)	吉澤裕明	森本康介	新澤佳代	田端美香		
(警備)	乙川和之	青木健一				
駐車場警備係	小越和秋	田部 裕				
西口受付係						
(受付)	松原 徹	千葉まり子				
(チケット)	草間友貴	佐々木智明	吉住久彌	佐藤穂貴	池田光洋	金山あずさ
	石井洋光					
(警備)	島田總史	荒川大晟				
南西2階受付係						
(チケット)	斑目晃子	鈴木康平	(警備)	東出則昭		
会場責任者						
(第一試合場)	川名賢充		(第二試合場)	宮林高夫		
選手係兼竹刀検査係						
(第一試合場)	工藤國夫	関川慎治	伊藤祐樹	井上哲也	吉村政之	
(第二試合場)	高野 裕	岡部英幸	鈴木啓仁	岩田 裕	三浦和人	
記録係						
(第一試合場)	佐藤 護	片岡紀久	(第二試合場)	小島浩人	紺野千恵子	
時計係						
(第一試合場)	五十嵐清裕	谷口 豊	(第二試合場)	蓮沼俊二	櫻井孝仁	
掲示係						
(第一試合場)	宮内和明	宇都宮睦実	(第二試合場)	井口義章	後藤理恵	
大掲示係	山崎大輝	今泉あかり				
筆耕係	古川茂一					
放送係	榊 里美	佐藤利子				
(放送連絡員)	菅 大二郎	小見山 要				
電光掲示係	松崎侃定	目黒脩己				
NHK連絡員	新聞巧巳	寺井亮介				
ライブ配信・SNS発信	情報小委員会	矢野雅之	澤飯功明	和栗諒人		
写真係	鈴木徳之	新美俊太郎	和栗淑子			
防火監視員	岩坂 守	松浦千恵				
ドーピング検査	吉田真子					
プログラム販売係	齋藤和哉	高杉朋美	土屋美希			
接待係	松井由枝	師藤愛菜	田中万結	矢坂 麗	藤原日菜乃	
救護係	野見山 延	小松智美				
警備係						
(1階・地下)	遠藤尚人	野澤 豪	時田剣成	林 拓郎	三橋遼介	
(階段)	石川慎吾	宮野恭平	湯原 充	谷口 洋	風戸 諒	曾根田 慧
	吉田育弘	古川大貴	根岸 剛	萩原 裕		
(エレベーター)	松下 聖	(東 口)	菅 龍太郎	(アリーナ中道場)	三原 勇	

審判員

審判長	濱崎 満 剣道範士				審判主任	亀井 徹 剣道範士	小坂 達明 剣道範士
剣道範士 大城戸 功	剣道範士 佐藤 桂生	剣道範士 谷 勝彦	剣道範士 松田 勇人	剣道範士 下島貴代一			
剣道範士 清水 新二	剣道範士 重松 隆	剣道範士 栗田和市郎	剣道範士 佐藤 勝信	剣道範士 岡嶋 恒			
剣道範士 永松 眞澄	剣道範士 寫末 秀一	剣道範士 山崎 尚	剣道範士 松下 悦郎	剣道範士 山本 雅彦			
剣道範士 山中 洋介	剣道範士 松本 政司	剣道範士 宮崎 正裕					

第71回 全日本剣道選手権大会 審判員割当表

審判長・濱崎 満 (東京)

第1試合場

主任・	亀井 徹 (熊本)
1組	佐藤 桂生 (兵庫)
	栗田和市郎 (東京)
	松本 政司 (香川)
	松田 勇人 (奈良)
2組	岡嶋 恒 (北海道)
	山崎 尚 (愛知)
3組	下島貴代一 (岐阜)
	重松 隆 (滋賀)
	寫末 秀一 (福岡)

第2試合場

主任・	小坂 達明 (大阪)
1組	大城戸 功 (愛媛)
	佐藤 勝信 (東京)
	山中 洋介 (鳥取)
2組	谷 勝彦 (群馬)
	永松 眞澄 (兵庫)
3組	山本 雅彦 (大阪)
	清水 新二 (熊本)
	松下 悦郎 (鹿児島)
	宮崎 正裕 (神奈川)

【備考】 1. 1回戦から3回戦までは、2試合場で実施。4回戦より1試合場で実施。

2. () 内は、登録の都道府県剣道連盟。

第71回全日本剣道

	段位	出場 回数	氏名	選出県	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝	決
1	五段	初	染矢 椋太郎	(宮崎)	1					
2	五段	初	林 真也	(鳥取)	1	33				
3	六段	③	村上 哲彦	(愛媛)	2					
4	四段	初	鈴木 龍哉	(千葉)	2		49			
5	四段	初	石本 昌也	(岡山)	3					
6	錬六	④	合屋 龍	(京都)	3	34				
7	六段	⑧	菅野 隆介	(岩手)	4					
8	錬六	初	宮崎 克海	(神奈川)	4			57		
9	五段	初	槌田 祐勢	(熊本)	5					
10	四段	③	小角 朋樹	(大阪)	5	35				
11	五段	②	伊澤 周都	(北海道)	6					
12	六段	③	上野 敬正	(群馬)	6		50			
13	錬六	③	柴田 駿介	(山口)	7					
14	六段	初	望月 一世	(静岡)	7	36				
15	五段	④	星子 啓太	(東京)	8					
16	五段	初	大田 貢平	(石川)	8					
17	錬六	⑦	足立 柳次	(埼玉)	9				61	
18	五段	初	内堀 聡一郎	(香川)	9	37				
19	錬六	②	山下 雄輔	(三重)	10					
20	五段	初	芳賀 翔矢	(福島)	10		51			
21	四段	初	中山 寛大	(福岡)	11					
22	五段	⑤	松崎 賢士郎	(茨城)	11	38				
23	五段	初	斎藤 拓哉	(新潟)	12					
24	四段	初	三浦 康貴	(兵庫)	12					
25	六段	②	山本 義征	(徳島)	13			58		
26	五段	③	矢野 貴之	(東京)	13	39				
27	四段	初	堤 光誠	(大分)	14					
28	五段	初	日向 裕也	(山形)	14					
29	六段	初	谷 亮太	(愛知)	15		52			
30	五段	初	折田 将大	(鹿児島)	15					
31	六段	⑤	山本 大喜	(千葉)	16	40				
32	錬七	③	大城戸 知	(大阪)	16					

選手権大会組合せ

勝	準決勝	4回戦	3回戦	2回戦	1回戦	段位	番	氏名	選出県
					33	六段	⑤	竹ノ内佑也	(東京)
				41	17	錬六	①	吉武剛	(愛知)
					34	錬六	①	吉武剛	(愛知)
					35	五段	①	屋富祖俊貴	(沖縄)
					18	六段	①	竹政健太郎	(愛媛)
					36	六段	①	竹政健太郎	(愛媛)
					37	三段	①	大平翔斗	(栃木)
					19	錬六	②	松尾大樹	(長崎)
					38	錬六	②	松尾大樹	(長崎)
					39	五段	④	千田海	(宮城)
					20	四段	②	山本清吾	(奈良)
					40	四段	②	山本清吾	(奈良)
					41	五段	②	精松慎治	(埼玉)
					21	五段	①	阪口克哉	(大阪)
					42	五段	①	阪口克哉	(大阪)
					43	五段	①	泉賢史	(富山)
					22	六段	①	坂本秀樹	(島根)
					44	六段	①	坂本秀樹	(島根)
					45	錬六	⑧	國友錬太郎	(福岡)
					23	四段	②	黒川雄大	(茨城)
					46	四段	②	黒川雄大	(茨城)
					47	五段	①	小倉進志	(和歌山)
					24	四段	①	大塩泰我	(北海道)
					48	四段	①	大塩泰我	(北海道)
					49	四段	①	棗田龍介	(広島)
					25	錬七	①	江原寛二	(岐阜)
					50	錬七	①	江原寛二	(岐阜)
					51	五段	①	山崎誠司	(兵庫)
					26	五段	⑤	真田裕行	(神奈川)
					52	五段	⑤	真田裕行	(神奈川)
					53	五段	②	西澤慎也	(長野)
					27	四段	②	池田虎ノ介	(福岡)
					54	四段	②	池田虎ノ介	(福岡)
					55	五段	①	相馬健志	(青森)
					28	教七	⑦	橋本桂一	(埼玉)
					56	教七	⑦	橋本桂一	(埼玉)
					57	錬六	②	伊藤智博	(秋田)
					29	四段	①	棕梨昂竜	(東京)
					58	四段	①	棕梨昂竜	(東京)
					59	教七	⑦	笹川哲平	(佐賀)
					30	錬六	⑤	中澤公貴	(高知)
					60	錬六	⑤	中澤公貴	(高知)
					61	六段	⑦	三雲悠佑	(滋賀)
					31	五段	①	兵藤裕則	(千葉)
					62	五段	①	兵藤裕則	(千葉)
					63	四段	①	坂本大河	(山梨)
					32	六段	⑥	林田匡平	(福井)
					64	六段	⑥	林田匡平	(福井)

1	2	3	4	5	6	7	8
							
宮崎県代表 そめ やりょう た ろう 染矢 椋太郎 (27歳)	鳥取県代表 はやし しん や 林 真也 (31歳)	愛媛県代表 むら かみ てつ ひこ 村上 哲彦 (31歳)	千葉県代表 すず きりゅう や 鈴木 龍哉 (21歳)	岡山県代表 いし もと まさ や 石本 昌也 (25歳)	京都府代表 ごう や りょう 合屋 龍 (31歳)	岩手県代表 かんの りゅうすけ 菅野 隆介 (31歳)	神奈川県代表 みや ぎき かつ うみ 宮崎 克海 (33歳)
1. 五段	1. 五段	1. 六段	1. 四段	1. 四段	1. 錬士六段	1. 六段	1. 錬士六段
2. 警察官 (宮崎県警察)	2. 警察官 (鳥取県警察)	2. 警察官 (愛媛県警察)	2. 学生 (法政大3年)	2. 刑務官 (岡山刑務所)	2. 警察官 (京都府警察)	2. 教員 (岩手県立福岡高)	2. 警察官 (神奈川県警察)
3. 中央大卒	3. 大阪体育大卒	3. 松山大卒	3.	3. 立命館大卒	3. 鹿屋体育大卒	3. 国士舘大卒	3. 東海大付属相模高卒
4. 宮崎県出身	4. 宮崎県出身	4. 愛媛県出身	4. 千葉県出身	4. 岡山県出身	4. 福岡県出身	4. 宮城県出身	4. 神奈川県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会団体出場・個人出場 ●全日本学生大会団体優勝 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体出場・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会3回目出場第70回大会優勝 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全日本学生大会個人2位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体出場・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会4回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会出場2回 ●全国警察大会団体二部優勝・個人3位 ●国体3位	5. ●選手権大会8回目出場 ●東西対抗大会出場 ●全国教職員大会個人3位2回 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体2位 ●国体出場

9	10	11	12	13	14	15	16
							
熊本県代表 つち だ ゆう せい 植田 祐勢 (26歳)	大阪府代表 こすみ とも き 小角 朋樹 (24歳)	北海道代表 い ぎわしゅう と 伊澤 周都 (28歳)	群馬県代表 うえ の のり まさ 上野 敬正 (31歳)	山口県代表 しば た しゅんすけ 柴田 駿介 (33歳)	静岡県代表 もち づき いっ せい 望月 一世 (31歳)	東京都代表 ほし こ けい た 星子 啓太 (25歳)	石川県代表 おお た こう へい 大田 貢平 (28歳)
1. 五段	1. 四段	1. 五段	1. 六段	1. 錬士六段	1. 六段	1. 五段	1. 五段
2. 警察官 (熊本県警察)	2. 警察官 (大阪府警察)	2. 警察官 (北海道警察)	2. 警察官 (群馬県警察)	2. 警察官 (山口県警察)	2. 警察官 (静岡県警察)	2. 警察官 (警視庁)	2. 警察官 (石川県警察)
3. 明治大卒	3. 麗澤端浪高卒	3. 国士舘大卒	3. 本庄第一高卒	3. 日本大卒	3. 東海大卒	3. 筑波大卒	3. 星稜高卒
4. 熊本県出身	4. 奈良県出身	4. 北海道出身	4. 群馬県出身	4. 福岡県出身	4. 静岡県出身	4. 鹿児島県出身	4. 石川県出身
5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体出場	5. ●選手権大会3回目出場 ●全国警察大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体出場 ●国体出場	5. ●選手権大会3回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体出場・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会3回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体二部優勝・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体出場・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会4回目出場第69回大会優勝3位 ●世界大会団体優勝 ●全国警察大会団体優勝・個人優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体三部2位・個人出場 ●国体出場

<p>17</p>  <p>埼玉県代表 あ だちりゅう じ 足立柳次 (32歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (埼玉県警察) 3. 筑波大卒 4. 鳥取県出身 5. ●選手権大会7回 目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会優勝 ●全国警察大会団体 出場・個人出場 ●国体出場</p>	<p>18</p>  <p>香川県代表 う ちほり せう いちろう 内堀聡一郎 (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (香川県警察) 3. 香川県立高松商業高卒 4. 香川県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●国体出場</p>	<p>19</p>  <p>三重県代表 や ま し た ゆう すけ 山下雄輔 (34歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (三重県警察) 3. 関西学院大卒 4. 三重県出身 5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県大会優 勝 ●全国警察大会個 人出場 ●国体出場</p>	<p>20</p>  <p>福島県代表 は が し ょ う や 芳賀翔矢 (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 教員 (只見町立只見中) 3. 日本体育大卒 4. 福島県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●全国教職員大会 出場 ●国体出場</p>	<p>21</p>  <p>福岡県代表 な か や ま か ん た 中山寛大 (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (福岡県警察) 3. 中央大卒 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●全日本学生大会 団体優勝3位・個 人出場 ●全国高校選抜大 会出場</p>	<p>22</p>  <p>茨城県代表 ま つ ぎ け ん し ろ う 松崎賢士郎 (25歳)</p> <p>1. 五段 2. 大学院生 (筑波大学院) 3. 4. 長崎県出身 5. ●選手権大会5回 目出場第68回大 会優勝2位 ●都道府県大会優 勝2位 ●国体優勝4回</p>	<p>23</p>  <p>新潟県代表 さ い と う た く や 斎藤拓哉 (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (新潟県警察) 3. 東京農業大卒 4. 新潟県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場 ●国体出場</p>	<p>24</p>  <p>兵庫県代表 み う ら こ う き 三浦康貴 (23歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (兵庫県警察) 3. 東洋大附属姫路高卒 4. 兵庫県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●全国警察大会団 体二部優勝・個 人出場</p>
---	---	---	---	--	--	---	---

<p>25</p>  <p>徳島県代表 や ま も と よ し ゆ き 山本義征 (34歳)</p> <p>1. 六段 2. 警察官 (徳島県警察) 3. 大阪体育大卒 4. 徳島県出身 5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体三部3位・個人 出場 ●国体出場</p>	<p>26</p>  <p>東京都代表 や の た か ゆ き 矢野貴之 (27歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (警視庁) 3. 国士館大卒 4. 東京都出身 5. ●選手権大会3回 目出場3位 ●全国警察大会団 体優勝・個人3位</p>	<p>27</p>  <p>大分県代表 つ つ み こ う せ い 堤光誠 (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (筑波大4年) 3. 4. 大分県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●全日本学生大会 個人出場 ●全国高校大会団 体3位 ●全国高校選抜大 会2位 ●国体出場</p>	<p>28</p>  <p>山形県代表 ひ な た ゆ う や 日向裕也 (30歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (山形県警察) 3. 流通経済大卒 4. 山形県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場 ●国体出場</p>	<p>29</p>  <p>愛知県代表 た に り ょ う た 谷亮太 (31歳)</p> <p>1. 六段 2. 警察官 (愛知県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●全国警察大会二 部優勝 ●全日本学生大会 団体3位</p>	<p>30</p>  <p>鹿児島県代表 お り た ま ひ ろ 折田将大 (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (鹿児島県警察) 3. 日本体育大卒 4. 鹿児島県出身 5. ●選手権大会初出 場 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場 ●全国高校大会個 人3位 ●全国高校選抜大 会3位</p>	<p>31</p>  <p>千葉県代表 や ま も と だ い き 山本大喜 (32歳)</p> <p>1. 六段 2. 警察官 (千葉県警察) 3. 国際武道大卒 4. 奈良県出身 5. ●選手権大会5回 目出場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場 ●国体出場</p>	<p>32</p>  <p>大阪府代表 お お き ど さ と る 大城戸知 (39歳)</p> <p>1. 錬士七段 2. 警察官 (大阪府警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 愛媛県出身 5. ●選手権大会3回 目出場 ●世界大会団体優 勝・個人出場 ●東西対抗大会出 場 ●都道府県大会2位 ●全国警察大会団 体優勝・個人優勝 ●国体優勝</p>
---	--	---	--	---	---	---	--

33	34	35	36	37	38	39	40
							
東京都代表 たけの うちゆう や 竹ノ内佑也 (30歳)	愛知県代表 よし たけ つよし 吉武 剛 (32歳)	沖縄県代表 や ふ ぞ と し き 屋富祖俊貴 (28歳)	愛媛県代表 たけ ま さ けん た ろ う 竹政健太郎 (29歳)	栃木県代表 お お ひ ら か け と 大平翔斗 (20歳)	長崎県代表 まつ お だ い き 松尾大樹 (31歳)	宮城県代表 せん だ か い 千田 海 (27歳)	奈良県代表 や ま も と し ょ う ご 山本清吾 (21歳)
1. 六段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 六段	1. 三段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 四段
2. 警察官 (警視庁)	2. 警察官 (愛知県警察)	2. 警察官 (沖縄県警察)	2. 警察官 (愛媛県警察)	2. 学生 (鹿屋体育大3年)	2. 警察官 (長崎県警察)	2. 警察官 (宮城県警察)	2. 学生 (日本体育大4年)
3. 筑波大卒	3. 専修大卒	3. 沖縄県立那覇高卒	3. 松山大卒	3.	3. 東京学芸大卒	3. 明治大卒	3.
4. 宮崎県出身	4. 長崎県出身	4. 沖縄県出身	4. 愛媛県出身	4. 東京都出身	4. 長崎県出身	4. 宮城県出身	4. 奈良県出身
5. ●選手権大会5回 目出場第62回大 会優勝 ●世界大会団体優勝 2回・個人2位3位 ●全国警察大会団体 優勝・個人優勝 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会2 位 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出 場 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場	5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●国体出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県大会3 位 ●国体出場	5. ●選手権大会4回 目出場 ●都道府県大会出 場 ●全日本学生大会 団体出場・個人 出場 ●国体出場	5. ●選手権大会2回目出 場 ●都道府県大会出 場 ●全日本学生大会団 体2位・個人3位 ●全国高校大会団 体3位・個人出場 ●全国高校選抜大会3位 ●国体出場

41	42	43	44	45	46	47	48
							
埼玉県代表 あべ まつ しん じ 精松慎治 (30歳)	大阪府代表 さか ぐち か つ や 阪口克哉 (29歳)	富山県代表 いずみ けん じ 泉 賢史 (28歳)	島根県代表 さか も と ひ で き 坂本秀樹 (33歳)	福岡県代表 くにともれん た ろ う 國友錬太郎 (33歳)	茨城県代表 くろ か わ ゆ う だ い 黒川雄大 (22歳)	和歌山県代表 お ぐ ら しん じ 小倉進志 (26歳)	北海道代表 お お し お た い が 大塩泰我 (24歳)
1. 五段	1. 五段	1. 五段	1. 六段	1. 錬士六段	1. 四段	1. 五段	1. 四段
2. 警察官 (埼玉県警察)	2. 警察官 (大阪府警察)	2. 警察官 (富山県警察)	2. 警察官 (島根県警察)	2. 警察官 (福岡県警察)	2. 非常勤講師 (筑波大)	2. 警察官 (和歌山県警察)	2. 警察官 (北海道警察)
3. 鹿屋体育大卒	3. 国士舘大卒	3. 日本体育大卒	3. 日本体育大卒	3. 国士舘大卒	3. 筑波大卒	3. 立命館大卒	3. 国際武道大卒
4. 埼玉県出身	4. 熊本県出身	4. 岐阜県出身	4. 島根県出身	4. 福岡県出身	4. 福岡県出身	4. 和歌山県出身	4. 北海道出身
5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体出場・個人3位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出 場 ●全国警察大会3 位 ●全日本学生大会 団体2位	5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体二部優勝・個 人出場 ●国体3位	5. ●選手権大会8回 目出場第67回大 会優勝2位2回 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会3位 ●全国警察大会団 体二部優勝 ●全日本学生大会 団体優勝 ●国体出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全日本学生大会 団体優勝・個人 優勝	5. ●選手権大会初出 場 ●都道府県大会出 場 ●全国警察大会団 体出場・個人出 場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出 場 ●全国警察大会2 位 ●国体出場

<p>49</p>  <p>広島県代表 なつめ だりゅうすけ 稗田龍介 (23歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (広島県警察) 3. 日本体育大卒 4. 広島県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体2位・個人出場 ●全国高校大会個人3位</p>	<p>50</p>  <p>岐阜県代表 え はら ひろ つぐ 江原寛二 (37歳)</p> <p>1. 錬士七段 2. 警察官 (岐阜県警察) 3. 中部大卒 4. 愛知県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国警察大会団体2部3位</p>	<p>51</p>  <p>兵庫県代表 やま さき せい じ 山崎誠司 (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (兵庫県警察) 3. 日本体育大卒 4. 兵庫県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体3位</p>	<p>52</p>  <p>神奈川県代表 ま ね だ ひろ ゆき 真田裕行 (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (神奈川県警察) 3. 鹿屋体育大卒 4. 鳥取県出身 5. ●選手権大会5回目出場 ●全国警察大会個人出場2回</p>	<p>53</p>  <p>長野県代表 にし ざわ しん や 西澤慎也 (27歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (長野県警察) 3. 長野商業高卒 4. 長野県出身 5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会出場</p>	<p>54</p>  <p>福岡県代表 い け だ とら の すけ 池田虎ノ介 (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (筑波大4年) 3. 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会2回目出場3位 ●都道府県大会2位 ●全日本学生大会団体優勝</p>	<p>55</p>  <p>青森県代表 そう ま けん し 相馬健志 (29歳)</p> <p>1. 五段 2. 警察官 (青森県警察) 3. 清和大卒 4. 青森県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体出場・個人出場 ●国体出場</p>	<p>56</p>  <p>埼玉県代表 は し も と け い い ち 橋本桂一 (43歳)</p> <p>1. 教士七段 2. 会社員 (伊田テクノス株) 3. 帝京大卒 4. 埼玉県出身 5. ●選手権大会7回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会優勝3位 ●全日本実業団大会2位 ●全日本七段選抜選手権大会優勝 ●国体優勝</p>
---	---	--	--	---	---	---	--

<p>57</p>  <p>秋田県代表 い と う と も ひろ 伊藤智博 (33歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (秋田県警察) 3. 日本体育大卒 4. 秋田県出身 5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体出場・個人出場 ●国体出場</p>	<p>58</p>  <p>東京都代表 む く な し こう りょう 棕梨昂竜 (24歳)</p> <p>1. 四段 2. 警察官 (警視庁) 3. 大阪体育大卒 4. 熊本県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体出場</p>	<p>59</p>  <p>佐賀県代表 さ ぎ が わ て つ べい 笹川哲平 (40歳)</p> <p>1. 教士七段 2. 警察官 (佐賀県警察) 3. 佐賀県立三養基高卒 4. 佐賀県出身 5. ●選手権大会7回目出場 ●全国警察大会団体一部2位・団体二部優勝2回3位・個人2位</p>	<p>60</p>  <p>高知県代表 な か ざ わ た か ひこ 中澤公貴 (33歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 警察官 (高知県警察) 3. 国士舘大卒 4. 高知県出身 5. ●選手権大会5回目出場 ●都道府県大会出場 ●全国警察大会団体出場・個人出場 ●国体出場</p>	<p>61</p>  <p>滋賀県代表 み く も ゆう すけ 三雲悠佑 (34歳)</p> <p>1. 六段 2. 会社員 (東レ株) 3. 明治大卒 4. 大分県出身 5. ●選手権大会7回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県大会優勝 ●全日本学生大会団体3位・個人出場 ●全国高校大会団体優勝・個人出場 ●国体2位</p>	<p>62</p>  <p>千葉県代表 ひ よ う どう ひろ のり 兵藤裕則 (31歳)</p> <p>1. 五段 2. 会社員 (NTTコミュニケーションズ株) 3. 中央大卒 4. 愛知県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本実業団大会優勝 ●全日本学生大会団体2位 ●全国高校大会団体2位</p>	<p>63</p>  <p>山梨県代表 さ か も と た い が 坂本大河 (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 刑務官 (甲府刑務所) 3. 国士舘大卒 4. 山梨県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体2位 ●国体出場</p>	<p>64</p>  <p>福井県代表 は や し だ きょう へい 林田匡平 (29歳)</p> <p>1. 六段 2. 教員 (福井県立丸岡高) 3. 筑波大卒 4. 長崎県出身 5. ●選手権大会6回目出場2位1回3位2回 ●全国教職員大会個人優勝2回2位1回 ●全日本学生大会団体優勝・個人優勝 ●国体3位</p>
--	--	--	---	---	--	--	---

公開演武者の紹介

〔日本剣道形〕

演 武 者

下
島
貴
代
一



打太刀

重
松
隆



仕太刀

日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形7本、小太刀の形3本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修練の基本となるものです。

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

全日本剣道選手権大会入賞者一覧

第1回大会 (昭和28年11月8日、蔵前国技館) 優勝 榑原 正 (愛知、錬士、33) 第2位 阿部 三郎 (東京、教士、34) 第3位 鈴木 守治 (愛知、錬士、32) 第4位 植田 一 (香川、教士、40)	第2回大会 (昭和29年10月10日、東京両国メモリアルホール) 優勝 小西雄一郎 (福岡、錬士、32) 第2位 中尾 巖 (兵庫、教士、38) 第3位 中倉 清 (鹿児島、教士、44) 第4位 阿部 三郎 (東京、教士、34)
第3回大会 (昭和30年11月20日、東京両国国際スタジアム) 優勝 中村 太郎 (神奈川、教士、33) 第2位 植田 一 (香川、教士、42) 第3位 長島 末吉 (東京、教士、30) 第4位 田島 善人 (佐賀、教士、34)	第4回大会 (昭和31年11月18日、東京体育館) 優勝 浅川 春男 (岐阜、教士、37) 第2位 中村 太郎 (神奈川、教士、34) 第3位 阿部 三郎 (東京、教士、37) 第4位 嶽崎 操 (福岡、錬士、38)
第5回大会 (昭和32年11月17日、東京体育館) 優勝 森田 信尊 (長崎、教士六段、39) 第2位 松尾 廉二 (広島、教士六段、41) 第3位 阿部 三郎 (東京、教士七段、38) 第4位 園田 政治 (大阪、錬士六段、30)	第6回大会 (昭和33年11月9日、東京体育館) 優勝 鈴木 守治 (愛知、教士六段、37) 第2位 中村 太郎 (神奈川、教士七段、36) 第3位 矢野 太郎 (兵庫、教士六段、35) 第4位 伊保 清次 (東京、教士六段、38)
第7回大会 (昭和34年11月29日、東京体育館) 優勝 中村 太郎 (神奈川、教士七段、37) 第2位 大浦 芳彦 (福岡、教士七段、34) 第3位 津脇 良夫 (山口、教士六段、38) 第4位 園田 政治 (大阪、教士六段、32)	第8回大会 (昭和35年11月27日、東京体育館) 優勝 桑原 哲明 (宮崎、五段、21) 第2位 浦本 徹誠 (大阪、教士七段、35) 第3位 大浦 芳彦 (福岡、教士七段、35) 第3位 蓮井 肇 (兵庫、教士七段、43)
第9回大会 (昭和36年12月3日、東京体育館) 優勝 伊保 清次 (東京、教士七段、41) 第2位 小沼 宏至 (東京、教士七段、34) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、22) 第3位 谷口 安則 (福岡、教士七段、40)	第10回大会 (昭和37年12月2日、東京体育館) 優勝 戸田 忠男 (滋賀、五段、23) 第2位 片山 峯男 (熊本、教士七段、44) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士六段、31) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、23)
第11回大会 (昭和38年12月1日、東京体育館) 優勝 矢野 太郎 (兵庫、教士七段、40) 第2位 戸田 忠男 (滋賀、五段、24) 第3位 穂山 嘉昭 (佐賀、五段、21) 第3位 小林 三留 (大阪、五段、26)	第12回大会 (昭和39年11月29日、日本武道館) 優勝 戸田 忠男 (滋賀、五段、25) 第2位 西山 泰弘 (東京、錬士六段、28) 第3位 中村 毅 (東京、五段、23) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、25)
第13回大会 (昭和40年12月5日、日本武道館) 優勝 西山 泰弘 (東京、錬士六段、29) 第2位 恵土 孝吉 (愛知、六段、26) 第3位 有馬 光男 (大阪、五段、22) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士七段、34)	第14回大会 (昭和41年12月4日、日本武道館) 優勝 千葉 仁 (東京、五段、22) 第2位 村瀬 隆平 (岐阜、五段、26) 第3位 田中 信義 (島根、七段、43) 第3位 西出 功 (京都、五段、26)
第15回大会 (昭和42年12月3日、日本武道館) 優勝 堀田 国弘 (兵庫、教士七段、41) 第2位 千葉 仁 (東京、五段、23) 第3位 嶽下 武紀 (熊本、五段、22) 第3位 白藤 一郎 (大阪、五段、22)	第16回大会 (昭和43年12月1日、日本武道館) 優勝 山崎 正平 (新潟、教士七段、45) 第2位 戸田 忠男 (東京、錬士五段、29) 第3位 野沢 治雄 (埼玉、錬士七段、30) 第3位 松葉 忠文 (岐阜、五段、25)

第17回大会 (昭和44年12月7日、日本武道館) 優勝 千葉 仁 (東京、錬士六段、25) 第2位 矢野 洋二 (愛媛、五段、23) 第3位 有馬 光男 (大阪、錬士六段、26) 第3位 藤田 長久 (岡山、五段、25)	第18回大会 (昭和45年12月6日、日本武道館) 優勝 中村 毅 (東京、錬士六段、29) 第2位 千葉 仁 (東京、錬士六段、26) 第3位 木村 謙竜 (和歌山、五段、23) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士七段、39)
第19回大会 (昭和46年12月5日、日本武道館) 優勝 川添 哲夫 (東京、四段、21) 第2位 佐山 春夫 (栃木、五段、23) 第3位 川井 光男 (東京、錬士六段、26) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士七段、40)	第20回大会 (昭和47年12月3日、日本武道館) 優勝 千葉 仁 (東京、錬士六段、28) 第2位 川添 哲夫 (東京、四段、22) 第3位 有馬 光男 (大阪、錬士六段、29) 第3位 山田 博徳 (熊本、五段、24)
第21回大会 (昭和48年12月2日、日本武道館) 優勝 山田 博徳 (熊本、錬士五段、25) 第2位 有馬 光男 (大阪、錬士六段、30) 第3位 稲吉 正道 (愛知、錬士五段、25) 第3位 川添 哲夫 (高知、四段、23)	第22回大会 (昭和49年12月8日、日本武道館) 優勝 横尾 英治 (和歌山、五段、24) 第2位 稲吉 正道 (愛知、錬士五段、26) 第3位 野崎 義昭 (愛知、五段、26) 第3位 明石 和巳 (岩手、五段、27)
第23回大会 (昭和50年12月7日、日本武道館) 優勝 川添 哲夫 (高知、五段、25) 第2位 宮澤 保信 (宮城、四段、23) 第3位 明石 和巳 (岩手、錬士五段、28) 第3位 横尾 英治 (和歌山、五段、25)	第24回大会 (昭和51年12月5日、日本武道館) 優勝 右田幸次郎 (熊本、四段、23) 第2位 佐山 春夫 (栃木、錬士六段、28) 第3位 横尾 英治 (和歌山、五段、26) 第3位 川添 哲夫 (高知、五段、26)
第25回大会 (昭和52年12月11日、日本武道館) 優勝 小川 功 (大阪、教士七段、34) 第2位 末野 栄二 (鹿児島、錬士六段、28) 第3位 右田幸次郎 (熊本、四段、24) 第3位 梯 正治 (東京、錬士六段、30)	第26回大会 (昭和53年12月10日、日本武道館) 優勝 石橋 正久 (福岡、五段、27) 第2位 西川 清紀 (東京、四段、23) 第3位 香田 郡秀 (茨城、四段、21) 第3位 山田 博徳 (熊本、錬士六段、30)
第27回大会 (昭和54年12月9日、日本武道館) 優勝 末野 栄二 (鹿児島、錬士六段、30) 第2位 古川 和男 (北海道、五段、25) 第3位 山田 博徳 (熊本、錬士七段、31) 第3位 川添 哲夫 (高知、五段、29)	第28回大会 (昭和55年12月7日、日本武道館) 優勝 外山 光利 (宮崎、五段、26) 第2位 山田 博徳 (熊本、教士七段、32) 第3位 西川 清紀 (東京、五段、25) 第3位 渡辺 三則 (高知、錬士六段、33)
第29回大会 (昭和56年12月6日、日本武道館) 優勝 中田 琇士 (東京、教士六段、34) 第2位 小坂 達明 (大阪、錬士七段、33) 第3位 石塚 美文 (大阪、錬士六段、30) 第3位 松田 勇人 (奈良、五段、24)	第30回大会 (昭和57年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 健一 (大阪、錬士六段、33) 第2位 小坂 達明 (大阪、教士七段、34) 第3位 三宅 一 (神奈川、錬士六段、32) 第3位 氏家 道男 (東京、錬士六段、30)
第31回大会 (昭和58年11月3日、日本武道館) 優勝 東 一良 (愛知、錬士六段、33) 第2位 北村 浩二 (熊本、錬士六段、31) 第3位 大久保和彦 (神奈川、錬士六段、32) 第3位 福多 雅英 (徳島、四段、24)	第32回大会 (昭和59年11月3日、日本武道館) 優勝 原田 哲夫 (京都、錬士六段、31) 第2位 加治屋速人 (埼玉、錬士六段、30) 第3位 安田 水紀 (埼玉、錬士六段、35) 第3位 下島貴代一 (岐阜、錬士六段、30)

第33回大会 (昭和60年11月3日、日本武道館) 優勝 石塚 美文 (大阪、錬士六段、34) 第2位 近藤 亘 (徳島、錬士六段、30) 第3位 西川 清紀 (東京、錬士六段、30) 第3位 北村 浩二 (熊本、錬士六段、33)	第34回大会 (昭和61年11月3日、日本武道館) 優勝 岩堀 透 (大阪、教士七段、34) 第2位 亀井 徹 (熊本、錬士六段、32) 第3位 石塚 美文 (大阪、教士六段、35) 第3位 柏木 雄二 (鹿児島、錬士六段、33)
第35回大会 (昭和62年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、錬士六段、32) 第2位 東 一良 (愛知、教士六段、37) 第3位 大城戸 功 (愛媛、錬士六段、32) 第3位 加治屋速人 (埼玉、錬士六段、33)	第36回大会 (昭和63年11月3日、日本武道館) 優勝 林 朗 (北海道、錬士六段、30) 第2位 大澤 規男 (埼玉、錬士六段、28) 第3位 西川 清紀 (東京、錬士六段、33) 第3位 福井 悦郎 (広島、錬士六段、33)
第37回大会 (平成元年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、錬士七段、34) 第2位 伊藤 次男 (神奈川、錬士六段、32) 第3位 栗田和市郎 (東京、錬士六段、33) 第3位 大澤 規男 (埼玉、錬士六段、29)	第38回大会 (平成2年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、六段、27) 第2位 白川 雅博 (東京、錬士六段、35) 第3位 進藤 正広 (秋田、錬士六段、33) 第3位 前原 正作 (鹿児島、錬士六段、36)
第39回大会 (平成3年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士六段、28) 第2位 栄花 英幸 (北海道、五段、27) 第3位 石田 利也 (大阪、錬士六段、30) 第3位 田島 稔 (東京、錬士六段、29)	第40回大会 (平成4年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 利也 (大阪、錬士六段、31) 第2位 石田 洋二 (大阪、五段、27) 第3位 岡本 和明 (東京、五段、24) 第3位 高橋 英明 (京都、五段、27)
第41回大会 (平成5年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士六段、30) 第2位 宮崎 史裕 (神奈川、六段、28) 第3位 出崎 忠幸 (東京、六段、30) 第3位 山中 洋介 (鳥取、錬士七段、33)	第42回大会 (平成6年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、教士七段、39) 第2位 高橋 英明 (京都、錬士六段、29) 第3位 田島 稔 (東京、錬士六段、32) 第3位 岡本 和明 (東京、五段、26)
第43回大会 (平成7年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 利也 (大阪、教士七段、34) 第2位 高橋 英明 (京都、錬士六段、30) 第3位 大澤 規男 (埼玉、教士七段、35) 第3位 寺地賢二郎 (東京、錬士六段、32)	第44回大会 (平成8年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士七段、33) 第2位 原田 悟 (東京、四段、23) 第3位 宮崎 史裕 (神奈川、錬士六段、31) 第3位 栄花 英幸 (北海道、錬士六段、32)
第45回大会 (平成9年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 史裕 (神奈川、錬士六段、32) 第2位 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、34) 第3位 栄花 直輝 (北海道、六段、30) 第3位 栄花 英幸 (北海道、錬士六段、33)	第46回大会 (平成10年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、35) 第2位 江藤 善久 (大阪、錬士六段、32) 第3位 原田 悟 (東京、四段、25) 第3位 岩佐 英範 (東京、五段、28)
第47回大会 (平成11年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、36) 第2位 江藤 善久 (大阪、錬士六段、33) 第3位 石原 一幸 (群馬、錬士六段、33) 第3位 佐藤 充伸 (宮城、五段、25)	第48回大会 (平成12年11月3日、日本武道館) 優勝 栄花 直輝 (北海道、錬士六段、33) 第2位 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、37) 第3位 立花 義人 (福岡、四段、25) 第3位 原田 悟 (東京、五段、27)

第49回大会 (平成13年11月3日、日本武道館) 優勝 岩佐 英範 (東京、錬士六段、31) 第2位 佐藤 充伸 (宮城、五段、27) 第3位 佐藤 博光 (大阪、五段、28) 第3位 倉成 健治 (愛知、教士七段、39)	第50回大会 (平成14年11月2日・3日、日本武道館) 優勝 安藤 戒牛 (愛知、五段、29) 第2位 岩佐 英範 (東京、錬士六段、32) 第3位 小関 太郎 (東京、五段、26) 第3位 原田 悟 (東京、五段、29)
第51回大会 (平成15年11月3日、日本武道館) 優勝 近本 巧 (愛知、錬士六段、32) 第2位 安藤 戒牛 (愛知、五段、30) 第3位 深谷 仁 (東京、錬士六段、33) 第3位 田崎 智春 (福島、五段、29)	第52回大会 (平成16年11月3日、日本武道館) 優勝 鈴木 剛 (千葉、六段、32) 第2位 原田 悟 (東京、五段、31) 第3位 溝口 夏樹 (愛知、六段、31) 第3位 近本 巧 (愛知、錬士六段、33)
第53回大会 (平成17年11月3日、日本武道館) 優勝 原田 悟 (東京、六段、32) 第2位 内村 良一 (東京、四段、25) 第3位 北条 将臣 (神奈川、六段、31) 第3位 上園 修 (鹿児島、錬士六段、34)	第54回大会 (平成18年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、五段、26) 第2位 古澤 庸臣 (熊本、五段、28) 第3位 外山 浩規 (愛知、錬士六段、32) 第3位 高鍋 進 (神奈川、五段、30)
第55回大会 (平成19年11月3日、日本武道館) 優勝 寺本 将司 (大阪、六段、32) 第2位 高鍋 進 (神奈川、六段、31) 第3位 佐藤 博光 (大阪、錬士六段、34) 第3位 木和田大起 (大阪、五段、29)	第56回大会 (平成20年11月3日、日本武道館) 優勝 正代 賢司 (神奈川、五段、27) 第2位 若生 大輔 (北海道、六段、31) 第3位 有場 賢輔 (広島、五段、28) 第3位 米屋 勇一 (埼玉、六段、32)
第57回大会 (平成21年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、五段、29) 第2位 高橋 秀人 (東京、五段、29) 第3位 寺本 将司 (大阪、錬士六段、34) 第3位 高坂 雄介 (静岡、四段、29)	第58回大会 (平成22年11月3日、日本武道館) 優勝 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、34) 第2位 内村 良一 (東京、五段、30) 第3位 畠中 宏輔 (東京、五段、23) 第3位 古川 耕輔 (大阪、六段、31)
第59回大会 (平成23年11月3日、日本武道館) 優勝 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、35) 第2位 東永 幸浩 (埼玉、錬士六段、34) 第3位 岩下 智久 (千葉、錬士六段、33) 第3位 内村 良一 (東京、六段、31)	第60回大会 (平成24年11月3日、日本武道館) 優勝 木和田大起 (大阪、錬士六段、34) 第2位 内村 良一 (東京、錬士六段、32) 第3位 網代 忠勝 (兵庫、六段、32) 第3位 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、36)
第61回大会 (平成25年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、錬士六段、33) 第2位 小谷 明德 (千葉、五段、29) 第3位 正代 正博 (東京、五段、29) 第3位 安藤 翔 (北海道、四段、23)	第62回大会 (平成26年11月3日、日本武道館) 優勝 竹ノ内佑也 (福岡、四段、21) 第2位 國友錬太郎 (福岡、四段、24) 第3位 西村 英久 (熊本、五段、25) 第3位 畠中 宏輔 (東京、五段、27)
第63回大会 (平成27年11月3日、日本武道館) 優勝 西村 英久 (熊本、五段、26) 第2位 勝見 洋介 (神奈川、五段、29) 第3位 梅ヶ谷 翔 (福岡、三段、20) 第3位 竹下 洋平 (大分、五段、27)	第64回大会 (平成28年11月3日、日本武道館) 優勝 勝見 洋介 (神奈川、五段、30) 第2位 國友錬太郎 (福岡、五段、26) 第3位 地白 允大 (北海道、五段、29) 第3位 宮本 敬太 (茨城、四段、21)

第65回大会 （平成29年11月3日、日本武道館） 優勝 西村 英久（熊本、五段、28） 第2位 内村 良一（東京、錬士七段、37） 第3位 林田 匡平（福井、四段、23） 第3位 畠中 宏輔（東京、錬士六段、30）	第66回大会 （平成30年11月3日、日本武道館） 優勝 西村 英久（熊本、六段、29） 第2位 内村 良一（東京、錬士七段、38） 第3位 安藤 翔（北海道、五段、28） 第3位 竹下 洋平（大分、五段、30）
第67回大会 （令和元年11月3日、丸善インテックアリーナ大阪） 優勝 國友錬太郎（福岡、五段、29） 第2位 松崎賢士郎（茨城、四段、21） 第3位 前田 康喜（大阪、五段、26） 第3位 竹下 洋平（大分、六段、31）	第68回大会 （令和3年3月14日、ホワイトリング） 優勝 松崎賢士郎（茨城、四段、22） 第2位 村上 雷多（大阪、五段、31） 第3位 星子 啓太（鹿児島、四段、22） 第3位 林田 匡平（福井、五段、27）
第69回大会 （令和3年11月3日、日本武道館） 優勝 星子 啓太（鹿児島、四段、23） 第2位 林田 匡平（福井、五段、27） 第3位 山田 将也（愛知、四段、24） 第3位 村山 仁（神奈川、錬士六段、32）	第70回大会 （令和4年11月3日、日本武道館） 優勝 村上 哲彦（愛媛、五段、30） 第2位 安藤 翔（東京、六段、32） 第3位 矢野 貴之（東京、五段、26） 第3位 池田虎之介（福岡、四段、21）
第71回大会 （令和5年11月3日、日本武道館） 優勝 第2位 第3位 第3位	

メ 七

全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和5年6月27日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3	日本武道館内	03(3211)5804・F(3211)5807
会長 網代 忠宏	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14	靖国九段南ビル2階	03(3234)6271・F(3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地		電話・FAX
(一財)北海道剣道連盟	武田 牧雄	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1	北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663・(820)1662・1663
青森県	増田 知幸	038-0059	青森市大字油川字中道19-6		017(787)2485・(787)2485
秋田県	小松 誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10		018(838)1783・(845)3255
山形県	安部美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28		023(625)4825・(625)4826
岩手県	小笠原宏志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20	(一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220・(645)2220
(一財)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1		022(746)8461・(746)8462
福島県	長谷川弘一	960-0102	福島市鎌田字町23	サラダハウスA101号	024(597)8218・(597)8218
(一財)茨城県	水田 重則	310-0903	水戸市堀町1161-13		029(251)8811・(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6	栃木県教育会館2階	028(624)4567・(627)4001
群馬県	小林 一隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12		027(235)0870・(235)0870
(公財)埼玉県	栗原 憲一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5	浦和合同庁舎4階	048(834)8869・(834)8879
(一財)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2		03(5405)2166・(5405)3680
(一財)千葉県	忍足 功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20		043(285)4331・(285)4333
神奈川県	小林 英雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1	相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175・(321)6176
山梨県	渡邊 宏一	409-3804	中央市井之口150-2		055(278)6162・(278)6163
(一財)新潟県	荻荘 誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21	北陽ビル2階	025(384)4784・(384)4794
(一財)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3	KSハイツ205号	076(253)0310・(253)0341
(一財)富山県	大門 進	939-8076	富山市太郎丸2-77	伊勢税理士事務所内	076(492)4040・(423)6087
(一財)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18	サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616・(28)6616
(一財)長野県	加瀬 浩明	380-0844	長野市諏訪町503		026(237)8939・(235)8266
(一社)静岡県	二橋 高弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355		054(263)5428・(263)8367
(一財)愛知県	大嶽 將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22		052(481)0093・(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12	岐阜県水産会館611	058(274)1521・(274)8949
三重県	中森 博文	514-0007	津市大谷町152	大谷ハイム1-202号	059(226)5975・(229)7407
(一財)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20	辻田ビル2階	077(514)3165・(514)3178
(一財)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19		075(761)8288・(761)8287
(公社)大阪府	長榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1	若杉センタービル別館502号	06(6351)3345・(6351)3346
(一財)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14	不動ビル505号	0742(32)5008・(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2		073(432)7760・(432)7759
(公財)兵庫県	神谷 明文	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8	虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145・(802)5240
(一財)岡山県	藤田 長久	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1		086(235)3255・(235)3245
(一財)広島県	田中 秀和	730-0014	広島市中区上幟町1-5		082(962)3076・(962)3087
(一財)山口県	中西 章	753-0083	山口市後河原237-1	警察体育館別館内	083(932)5072・(932)5073
(一財)鳥取県	岸田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216	瀧本ビル3階	0857(29)2668・(29)2668
島根県	高木 弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1	鬼村純方	0852(27)6222・0852(27)6222
香川県	三原 悦男	760-0033	高松市丸の内4-6	アラキビル2階南	087(880)4463・(880)4467
(一社)愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28	福泉ビル205号	089(941)9394・(941)3013
高知県	渡邊 三則	781-5102	高知市大津甲2009-34		090-1009-6857
徳島県	藤川 和秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6	栗本マンション106号	088(652)2337・(652)2360
(公社)福岡県	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1	福岡武道館内	092(712)1890・(712)1891
佐賀県	川上 春生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11	佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184・(20)9888
(一財)長崎県	灰谷 達明	850-0036	長崎市五島町5-34	トーカンマンション1-E	095(826)5220・(826)5220
(一財)大分県	三浦 悟	870-0820	大分市西大道1-1-76	第2ハルキコーポ101号	097(547)9980・(547)9981
(一財)熊本県	尾方 正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2	熊本武道館内	096(381)8998・(381)8998
宮崎県	橋口 光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4		0985(62)3890・(62)3893
鹿児島県	俣木 正喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20	県立武道館内	099(255)8778・(255)8778
(一財)沖縄県	親川 光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2	沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410・(996)4616

全剣連発行の頒布物一覧

令和5年11月

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥500	55	3
杖道試合・審判規則	¥500	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説(英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説(英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
剣道和英辞典(第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q&A(第3版)	¥2,100	785	15
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3
剣道授業の展開(DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
木刀による剣道基本技稽古法DVD	¥3,600	92	15
居合DVD(英語版)	¥3,100	93	15
剣道人バッジ ネジ	¥1,600	13	16
剣道人バッジ タック	¥1,600	13	16
カフス・タイピン(真鍮バー)	¥6,100	66	30
FIKバッジ(ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1(先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2(ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台(ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄・あずき)	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210
設立七十周年記念出版「全剣連と剣道界 この十年の歩み」	¥2,500	980	28

* 品物はすべて消費税込みとなります。
* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

(1)インターネットからのお申し込み…<https://zenkenren-shop.com>

(2)FAXでのお申し込み……心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へFAXして下さい。

①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。

お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法(②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料(送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅配便……送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便……(この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、500円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

日本武道館発行 雑誌・書籍のご案内

心 技 体 MONTHLY MAGAZINE THE "BUDO" 人を育てる総合誌

月刊

武道

教育・健康・教養を三本柱に、役に立つ「武道人間学」の情報を満載!

毎月28日発行 定価556円(税込) 年間購読6,666円(税・送料込)



好評連載中

武道人の肖像

私の修業時代

11月号は藤崎興朗杖道範士八段・剣道教士八段が執筆

武道精神で社会を切り開く

今月のニュース



第71回全日本剣道選手権大会は12月号に掲載予定! (写真は2022年のもの)

各種武道大会の模様をニュースとしてお伝えします。剣道大会の記事も年間を通して豊富に掲載!

日本武道館発行の単行本



剣道 その歴史と技法

埼玉大学名誉教授 大保木輝雄 著

戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を紹介。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で、改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、月刊「武道」での連載終了後5年の時を経てついに単行本化。

四六判・上製・576頁・定価2,640円

剣道の文化誌 — 剣術・撃剣・剣道、その文化としての成り立ち —

明治大学教授・剣道範士八段 長尾進 著

剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながらわかりやすく紹介。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひご一読を。

四六判・上製・480頁・定価2,640円



編集・発行 公益財団法人 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <https://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03-3216-5147
FAX03-3216-5158

南房総かつうら ◎NIPPON BUDOKAN TRAINING CENTER

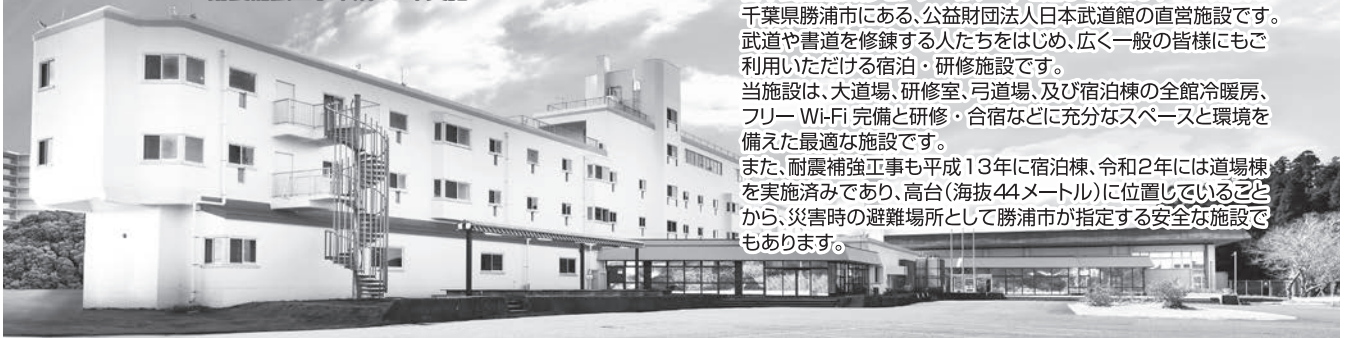
日本武道館研修センター

耐震補強工事平成13年実施

日本武道館研修センターは、一年を通して過ごしやすい気候の千葉県勝浦市にある、公益財団法人日本武道館の直営施設です。武道や書道を修練する人たちをはじめ、広く一般の皆様にもご利用いただける宿泊・研修施設です。

当施設は、大道場、研修室、弓道場、及び宿泊棟の全館冷暖房、フリー Wi-Fi 完備と研修・合宿などに充分なスペースと環境を備えた最適な施設です。

また、耐震補強工事平成13年に宿泊棟、令和2年には道場棟を実施済みであり、高台(海拔44メートル)に位置していることから、災害時の避難場所として勝浦市が指定する安全な施設でもあります。



大道場…1000畳の広さ(分割使用可)冷暖房完備



弓道場…9人立ち、冷暖房、巻藁室、男女トイレ完備



相撲道場(専用シャワートイレ完備)

宿泊料金

●武道を目的とした宿泊(1泊夕食・朝食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
大人	7,040円	6,490円
小・中学生 <small>幼児無料</small>	6,710円	6,270円

表示料金は税込

●武道目的以外の宿泊(1泊夕食・朝食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
大人	7,370円	6,930円
小・中学生 <small>幼児無料</small>	6,820円	6,600円

・未就学児の室料は無料です。
 ・食事はビュッフェ形式。昼食料金…990円
 ・宿泊利用での施設使用料は無料です。ただし、宿泊を伴わない場合は、別途使用料金を頂きます。

●お問い合わせ・ご予約・お申し込み先は…

日本武道館研修センターまで
 〒299-5231 千葉県勝浦市沢倉582
 TEL 0470-73-2111 FAX 0470-73-2819
 日本武道館ホームページ又はGoogleマップで館内の施設が確認できます。

日本武道館研修センター



百錬自得



国際武道大学

《体育学部》 ◆武道学科 (9 コース) ◆体育学科 (6 コース)

所在地：千葉県勝浦市新官 8 4 1 番地

お問い合わせ先 入試フリーダイヤル：0120-654-210 n-center@budo-u.ac.jp



オープンキャンパス情報

真摯に求めたい「剣道の価値」

剣道日本の新刊

剣道にめぐり逢えた幸運

波乱万丈の自伝と剣の術理の指南

著者 小林英雄

神奈川県剣道連盟会長、剣道範士八段
昭和17年1月生まれ。熊本県・鎮西高校1年時に剣道をはじめ、卒業後、神奈川県警察に奉職。同県警首席師範を経て平成14年に退職し、名誉師範となる。全日本選手権、全日本東西対抗大会、明治村大会(3位2回)、全日本選抜八段大会(3位)、国体(優勝)など各種大会に出場。第12回世界選手権大会で日本チームの男子監督を務めた。

- 第一章 発心——考えることが当たり前となった剣道事始め
- 第二章 決心——逃げずに進めば世界は広がる
- 第三章 探究心——八段合格につなげた「攻め」の理解
- 第四章 向上心——八段審査を目指す方々に伝えたい昇段審査の心得
- 第五章 関心——稽古前に噛み締めておきたい言葉
- 第六章 核心——信じて目指した「仕太刀の心境」
- 第七章 慈心——知っておきたい道場での礼法、作法
- 第八章 自尊心——心はどこに置くべきか
- 第九章 相続心——剣道を楽しむコツ(子どもから大人まで)

この書籍は一般書店では売られていません。
剣道日本公式通販サイトかAmazonでのみ購入可能です。



さらに剣道を深く知りたいなら
剣道日本刊行書籍で!

雑誌以外は一般書店では購入できません。



月刊
剣道日本

the KENDO-NIPPON monthly

毎月
25日発売

好評連載

- 脱力剣道の魅力 玉野輝男(物理学博士)
- 敗者はいない 馬場欽司
- 師の教え 藤原崇郎(聞き手 鳴本敬一郎)
- 強豪選手の必勝技「ツワモノ」に学べ!
- 剣道女子
- 名手が選んだ剣道具
- 剣道とコンディショニング
- 剣道普及のカタチ

株式会社剣道日本

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目5-14 WISE NEXT 新横浜503号室
TEL 045-534-8573 FAX 045-534-8399 E-mail post@kendo-nippon.co.jp <https://kendo-nippon.co.jp>

おかげさまで創刊50周年

剣を学び、道を学ぶ。剣道時代は「読む」剣道である

稽古で強くなりたかったら剣道時代。
試合で勝ちたかったら剣道時代。
昇段審査で合格したいなら剣道時代。
そして、剣道を人生の糧としたかったら剣道時代。
あなたの剣道時代は読む剣道です。

これからも
剣道の普及と発展のために
がんばります。
毎月25日発売／定価980円(税込)
年間購読料=11,760円



昨年の大会より

剣道時代の本

全日本剣道選手権者の稽古

高鍋進・寺本将司・原田悟・近本巧



B5版 146ページ 定価 1,980円
ISBN 978-4-88458-295-1



最新号 12月号 定価980円(税込)

特集 瞬息きざしを捉えて打て

優勝インタビュー

渡邊タイ (全日本女子剣道選手権優勝)

徹底研究

引き技はこうして打て

定期購読のすすめ

書店に買いに行く暇がない忙しいあなたには定期購読がおすすめです。定期購読のお申し込みをすると、あなたのお手元に毎月お届けします。しかも特別定価の差額、送料は当社負担(国内)ですから、お得です。

定期購読料 1年間=11,760円

お申し込み方法

①銀行口座振替、②本誌トジ込みの「振替用紙」を使う、③郵便局にある「振替取扱票」を使う、④現金書留(現金書留用封筒をお使いください)

以上いずれかの方法でお申し込みください。なお、①の場合は電話・FAX・Eメールにて「〇年〇月号より定期購読」と明記してお申し込みください。のちほど口座振替依頼書を送付し、ご指定の口座から引き落としをいたします。②の場合は所定事項を記入して、③④の場合も必ずあなたの住所、氏名、年齢、性別、電話番号、そして「〇年〇月号から1年分を希望」と、通信欄または紙に書いて下さい。

口座番号=00100・7・25587
加入者名=株式会社体育とスポーツ出版社

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 3F

編集部 電話 03(6265)6554 FAX 03(6265)6553
営業部 電話 03(3291)0911 FAX 03(3293)7750

E-mail eigyobu-taiiku-sports@thinkgroup.co.jp http://www.taiiku-sports.co.jp

郵便振替口座 東京00100-7-25587

(株)体育とスポーツ出版社

昂ぶらず冷めず。常ならざる姿が常になる。

phiten <https://www.phiten.com>

Art Curves

剣先の運動性に繋がる
新しい甲のフォルム



速乾DRY

洗える甲手

勝利への1ミリ。



メタックスとは、ファイテンの水溶性メタル技術により、各種金属をナノレベルで水中に分散したものです。

- ファイテンメタックスコーティング採用
- 5 mmジャージ織刺地仕様
- 丈夫なジャージ素材で軽く自然に握れる
- サイズ：(S) (M) (L) /25,300 円 (税込)
(LL) /27,500 円 (税込)

本商品はファイテン社の独自技術を取り入れたコラボレーション商品です。

世界のトップアスリートから一般の方まで広く製品が愛用されている理由は技術にあります。

ファイテンジャージ甲手「唯一、松興堂」



松興堂

× **phiten**

渋谷店ショールーム：東京都渋谷区道玄坂 2-17-3 TEL. 03-3463-0471

松興堂



- ① (S) 17.0 cm前後
(M) 19.0 cm前後
(L) 21.0 cm前後
(LL) 23.0 cm前後
- ② (S) 15.5 cm前後
(M) 17.0 cm前後
(L) 18.5 cm前後
(LL) 20.0 cm前後



H.P.

大正2年
創業百十周年記念



実践型剣道具 M-ROI

- * 面はオリジナル仕様の「ダイヤモンド」菱形刺
脳天は厚く下がり部は張りにある柔らかさ
- * 甲手は軽く手に馴染む 洗えます

9mm ミシン刺
特別製 限定防具

60,000(税込)円

面：布団下がり部・菱形刺 ジュラルミン面金付
胴：変わり三階松胸 濃紺糸つぶし刺 黒樹脂胸
甲手：総織刺地 手の内茶人工皮革
垂：五段手飾



〈菱形刺面布団〉

ダイヤモンド

匠の技が求めた究極の答え

面布団は決して薄くすることなく
従来の厚さを保ちながら、邪魔に
ならない使い易さです。

森 武道具株式会社

TEL:03-3661-0469

メール：info@moribudo.co.jp
サイト：www.moribudo.co.jp
所在地：東京都中央区日本橋小伝馬町6-12
営業時間：9:00 ~ 18:00 (月~金)
9:00 ~ 17:00 (土)
※日祝祭日定休



TEL : 072-773-0524
FAX : 072-773-1165

営業時間 / 10:00 ~ 19:00
定休日 / 毎月第2火曜日、1/1
※都合により、営業日・営業時間は
変更となる場合がございます。

長寿蔵 オンラインショップ
<http://choujugura.com/>

1、8と瓶詰
(化粧箱のご用意もございません)



KONISHI
小西酒造株式会社

創業1550年 小西酒造ホームページ
<http://www.konishi.co.jp/>
お客様相談室 : 072-782-5251
(土、日、祝日を除く9時~17時)



飲酒は20歳になってから。
お酒は、おいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒は、
胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

超特撰 白雪
伊丹 諸白
いたみもろはく

本醸造



JAPAN HERITAGE
日本遺産

「伊丹諸白」と「灘の生一本」
下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷



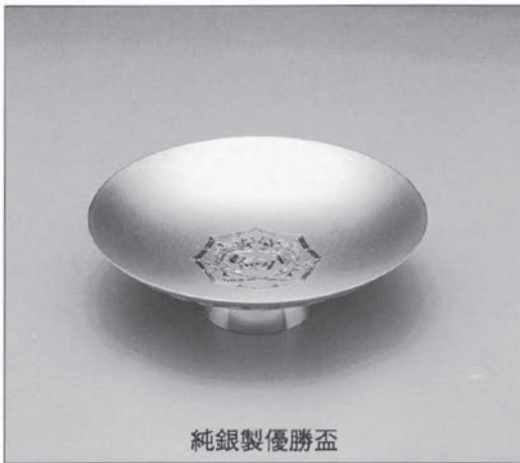
小西酒造は、伊丹の地で
四七〇年にわたり
酒造りを続ける蔵元です



インターナショナル・
ワイン・チャレンジ
2021
SAKE 部門
トロフィー受賞

七二〇瓶詰

超特撰 白雪 伊丹諸白本醸造 アルコール度数：15度以上16度未満



純銀製優勝盃



各種トロフィー・カップ・表彰楯

各種記念品から表彰カップ・トロフィーまで
心のこもったオリジナリティーの高い商品をお届けいたします。

お問い合わせは

ENEOSトレーディング株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 (東京建物日本橋ビル)
www.etr.eneos.co.jp

TEL 03-6262-2700

営業時間 / 9:00~17:30 [月~金]



KENBU-DO
人と武道の明日を考える

豊富な品揃え

建武堂では都内有数の広い売り場スペースに各種商品を豊富に展示しております。是非一度御来店下さい。

アフターフォロー万全

あなたにあった道具のカウンセリングからアフターフォローまでをサポートいたします。

ここまで使って
もうえると
ほんとに嬉しい
建武堂に帰れば
いくら疲れても
また戦える

道具の
部品の
すべて



株式会社 **建武堂**

営業時間AM10:00~PM7:00
(日曜・祭日はPM6:00まで) 毎週月曜定休
〒170-0013東京都豊島区東池袋1-15-1菱山ビル2F
TEL 03-3971-4840(代)
FAX 03-3971-4461
URL: <http://www.kenbu-do.co.jp/>
e-mail: information@kenbu-do.co.jp

真剣&名刀写し&居合稽古刀

拵部品各種・換え鞘も取り揃えてございます。

＊剣道 ＊柔道 ＊空手道 ＊合気道 ＊居合道 ＊剣詩舞道 ◀用品▶

KENDO JUDO KARATEDO AIKIDO IAIDO KENSHIBUDO



TEL 03-3262-1969

武道具デパート

KUDAN-SHITA TOKYO

九段下
株式会社 **櫻屋**

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-4
地下鉄 九段下駅 3番出口前 九段下四つ角

◀営業時間 10時～7時

◀定休日 毎週水曜日と日曜日

www.sakuraya.org

輝いた自分へ贈り物を。

<https://koyoshoji.biz/>

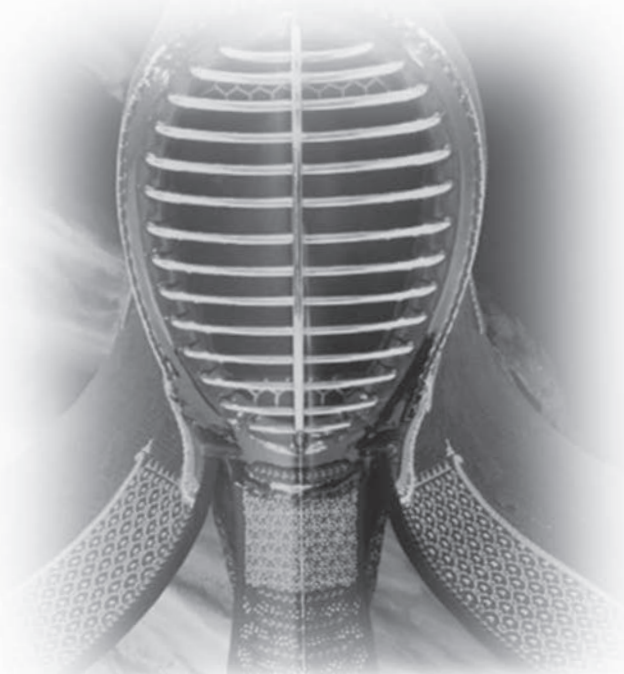
大会記念品及び
日本武道館オフィシャルグッズ、
そして、お弁当・飲み物などの
飲食料品まで幅広く
取り扱っておりますので、
お気軽にお問合せください。



日本武道館常設売店
株式会社 **光洋商事**

神奈川県大和市中央林間 1-10-19
TEL 046-278-2288 FAX 046-272-5822

Instagram で日本武道館オフィシャルグッズ及び
剣道関連商品の情報を投稿しておりますので
是非フォローよろしく
お願いいたします！



伝統の技術を守り
よりよい武道具の
ご提供を目指しております。
又、修理、お手入れ等先々の
メンテナンスも一級の技術にて
お応えしております。



株式会社

アライ武道具

東京都北区王子2丁目28番10号
TEL 03(3911)8694 (月曜日定休)
FAX 03(3911)8545
<http://www.budougu-arai.com>

祝 第71回全日本剣道選手権大会



天
Ten

選ばれ続けてきた必然

峰
MINE-KINSEI

● 日本製
最高級ミシン刺剣道具



武道用品の総合メーカー

株式会社 **三ツボシ**

事業本部：TEL 077-535-9136

www.mitsuboshi-budo.co.jp

〒520-0357 滋賀県大津市山百合の丘 10-26

剣道・居合道・空手道・合気道・柔道

尚武堂産業株式会社

東京都文京区本郷1-4-6

TEL.03(3815)0411(代)

- JR(中央線)水道橋駅下車
- 地下鉄：(都営 三田線) 水道橋駅下車
(東京メトロ丸の内線) 後樂園駅下車

営業時間：AM10:00～PM7:00

定休日：毎水曜日

制覇

制覇
PRO

PRO シリーズ

フィット感、軽さ、柔らかさを追求!!

現代剣道の為に作られた、理想の剣道具です。形状、素材にはすべて理由があります。
体と一体化したストレスのないフィット感は剣道家が追い求めている究極のスタイル。それを実現。
すべての剣道家に満足していただける剣道具だと自負しております。
激しい稽古にも良し、少しの妥協も許さない試合用にも最適です。



株式会社 城西 JOSAI 武道具



@JOSAIWUDOBU

〒263-0015
千葉市稲毛区作草部1-4-8
【定休日】火曜・第一月曜

TEL : 043-285-3876
FAX : 043-285-3771

おかげさまで
90周年

イベントで働く。



シミズオクト

シミズオクト

プリ・テック株式会社

❖ 本社

〒445-0804 愛知県西尾市緑町1-24
TEL.0563-55-0707 FAX.0563-55-0202

❖ 名古屋支店

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目2番10号
TEL.052-588-5822 FAX.052-588-5931

❖ 東京支店

〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-16
TEL.03-5800-8961 FAX.03-5800-4430

プリ・テックグループ

❖ 半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-21
TEL.0569-29-2525 FAX.0569-29-4500

❖ トーヨー印刷株式会社

〒507-0065 岐阜県多治見市根本町12-144
TEL.0572-29-3346 FAX.0572-29-3772

❖ プリテックメディア株式会社

〒445-0815 愛知県西尾市菅原町258
TEL.0563-55-0700 FAX.0563-55-0701

❖ 有限会社プリテックジャパン

〒475-0024 愛知県半田市亀崎高根町3丁目
105番地の13 TEL.0569-20-1020



プリ・テックグループは全ての事業所で
プライバシーマークを取得しています。

www.pritech.co.jp

P.T.C.
GROUP

マーケティング・プランニング・デザイン・DTPから
印刷・仕上げまで、トータルにサポートいたします。

まず、気づくことが
ご提案の第一歩です。

メ モ

祝 第71回全日本剣道選手権大会

剣道具・剣道着など
剣道に必要な物は何でも揃います



故 小林正二作モデルの防具とセミオーダー防具が好評です

特注品から既製品まで
ご予算に合わせて
剣道具・剣道着を
提供致します



Facebookで
新作防具を配信中

[HPへ]



防具のサイズにこだわって

剣道の痛みには、2通りの意味があります。「打突の痛み」と「防具が体に合わないことで生じる痛み」です。防具が体に合わない場合には、様々な症状が出ます。

【剣道具・武道具一式 販売・修理】

＜剣道・居合・なぎなた・杖道・合気・柔道・空手・一刀流鬼籠手＞

慶応3年創業 二代目 小林富次郎直伝 全日本武道具協同組合

(有)小林一心堂武道具店

代表 四代目 荒川マイスター（武道具修理工）稲垣禮子

＜営業時間＞ 平日11:00～19:00 日曜日11:00～18:00

＜定休日＞ 月曜・木曜・祭日・第1・3日曜日

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-2-3

TEL 03-3895-1031 FAX 03-3895-6580

【E-mail】kobayashi1shindo@yahoo.co.jp

【URL】<http://kobayashikendogu.main.jp/>

【FACEBOOK WEBアドレス】www.facebook.com/kobayashi.budo

ホームページ、Facebookをぜひ、ご覧下さい。

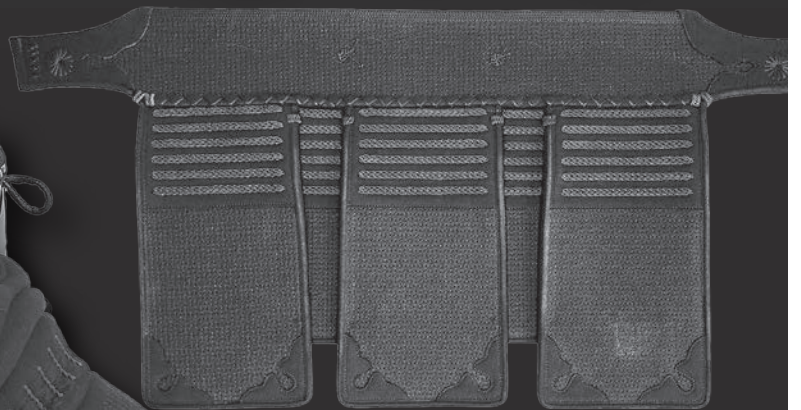
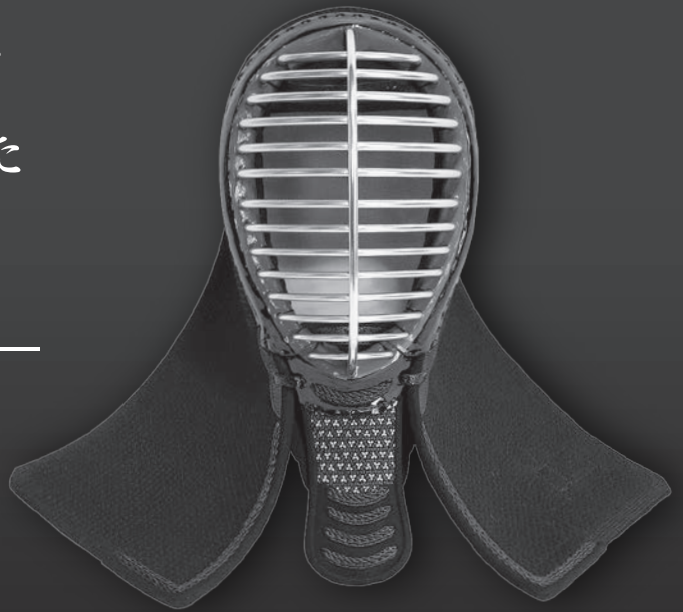
「小林一心堂武道具店」で検索



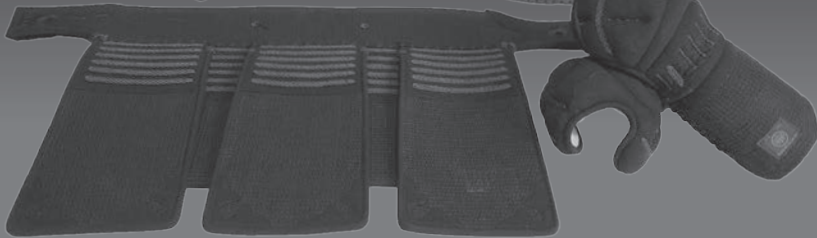
東京武道館より2駅目

昭和の良き伝統を受け継ぎ
埼玉県 朝霞の地で生まれた
国産高級剣道具

— 霞流剣道具 —



《お誂え》



国産 霞流剣道具

霞流 成山

高級国産剣道具 霞流の中では一番お求め
やすいセットです。初めてのお誂え防具
としてもおすすめ致します。

▼霞流 成山(せいざん)仕様の一例

面 : 織刺仕立、IBBジュラルミン面金、ピロード内輪

胴 : 50本型強化樹脂胴、2本足

甲手 : 霞流くの字甲手、織刺、手の内クスベ革

垂 : 4段飾、腹革1枚、垂紐止め選択可能

279,612円(込)から

アゴ・胸デザインを始め仕様は全て
お客様のご希望通りにお作りします。
どうぞお気軽にご相談ください。

霞流剣道具製造元
中古防具買取販売
(古物商許可取得店)

霞流剣道具製造元
(株) 福田武道具

電話: 048-465-5771(代) / モバイル: 080-5880-5771
〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-6-43

営業時間: 10時~19時 (月は17時まで、土日祝は18時まで)
火曜日・第1月曜日定休 / 東武東上線「朝霞」下車徒歩4分



祝 第71回 全日本剣道選手権大会



松 勘

活人
KATSU
JIN

勘 松勘工業株式会社

〒347-0056 埼玉県加須市土手1-4-27
TEL.0480-61-2211(代) FAX.0480-61-2044
URL:<http://www.matsukan.jp> E-mail:info@matsukan.jp





清潔・キレイ・カッコいい!

剣士がいるクリーニング店から、提案です。

剣道防具 を洗う

洗うべき、
というのが
ホンネです。





剣道防具クリーニング+染めリメイク専門

全国展開キャンペーン

※手刺・ミシン刺・子ども・大人でも一律料金です。

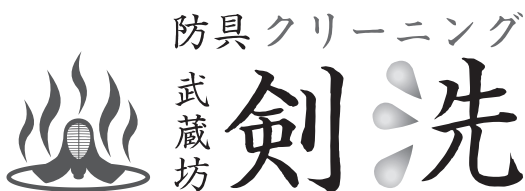
品目	安心価格	
 面	クリーニング	2,750円
	藍染めリメイク	2,200円
	面縁リメイク 黒塗り・朱塗り	2,200円
 小手	クリーニング(1組)	2,750円
	クリーニング(銃剣道片手)	1,380円
	藍染めリメイク(1組)	2,200円
	藍染めリメイク(銃剣道片手)	1,100円
 垂	クリーニング	2,750円
	藍染めリメイク	2,200円
 胴	クリーニング	1,650円
	磨きコーティング	1,800円

品目	安心価格	
 道着	剣道着アスリートクリーニング	2,200円
 袴	剣道袴アスリートクリーニング	3,850円



クーポンコード
『剣洗なかよし』

※当社からお客様のもとへ返送する際の送料は、全国一律1,100円です。



〒180-0022 東京都武蔵野市境2-5-6
TEL/0120-439-229 FAX/0422-60-2948
HP <http://bougu-kensen.com/>

お支払いは、Amazon Pay・カード決済orお振込・代金引換がご利用頂けます。

詳しくはホームページへ

パソコン、スマートフォンにてご注文承ります。

武蔵坊剣洗

検索

Facebook ページあります

剣洗って?



KENDO PARK

剣道具選びに 革命を起こせ。

- ⌚ 取り扱い防具メーカー20店舗以上
- ⌚ 新規会員登録で5%割引クーポンGET
- ⌚ 同メーカー内20,000円以上お買い物で送料無料



- 国内外最大級の剣道具専門通販サイト！
- 全国30以上のメーカー及び職人と提携！
- 取扱商品2,000アイテム以上！



今すぐ友だち追加！

KENDO PARK

LINE

LINE公式アカウント
はじめました！



今すぐチェック！

公式サイト：<https://kendopark.jp/>
お問い合わせ：info@kendopark.jp
代表：永松 謙使(ながまつ けんし)



協力：公益財団法人 全日本剣道連盟 公益財団法人 日本武道館

大切な一瞬を記憶に残す

私たちは、全日本剣道選手権大会の会場づくりをお手伝いしています。

ムラヤマは潤いあふれる感動コミュニケーションを
創造しています

 株式会社 **ムラヤマ**
www.murayama.co.jp



仕事と
人生に
誇りを。

誰かのために、自分のために。



METROPOLITAN
POLICE
DEPARTMENT
RECRUITING 2023

警視庁警察官採用

第3回 男性警察官[I・III類]、女性警察官[I・III類]

第1次試験日：令和6年1月7日(日)

申込受付期間：12月1日(金)午前9時～12月11日(月)午後5時

※インターネット申込みのみ

◇ 警視庁では、武道の段位やスポーツ大会の出場歴など、皆さんがお持ちの資格や経歴などについて、その内容を評定し採用試験の成績の一部としています。

◇ 詳細については、警視庁採用サイトをご確認ください。

警視庁

採用センター

☎0120-314-372

Tel:03-3581-4321(代表)

採用
サイト



LINE



採用
パンフレット



YouTube
柔道・剣道を仕事に生かす



文武両道

武の道で精神を磨き、
刑務官として躍進する。

取
鹿野
初

青
古
畑

山
尾
池

刑務官

武	道
区	分

 募集

道の始まりはここから



法務省

MINISTRY OF JUSTICE

全剣連アンチ・ドーピング委員会よりご案内






ジュニア剣士のための アンチ・ドーピング道場



▲動画はここから

本動画は小中学生の方にアンチ・ドーピングを知っていただくために作成しました。短い動画ですので、お気軽にご覧ください。

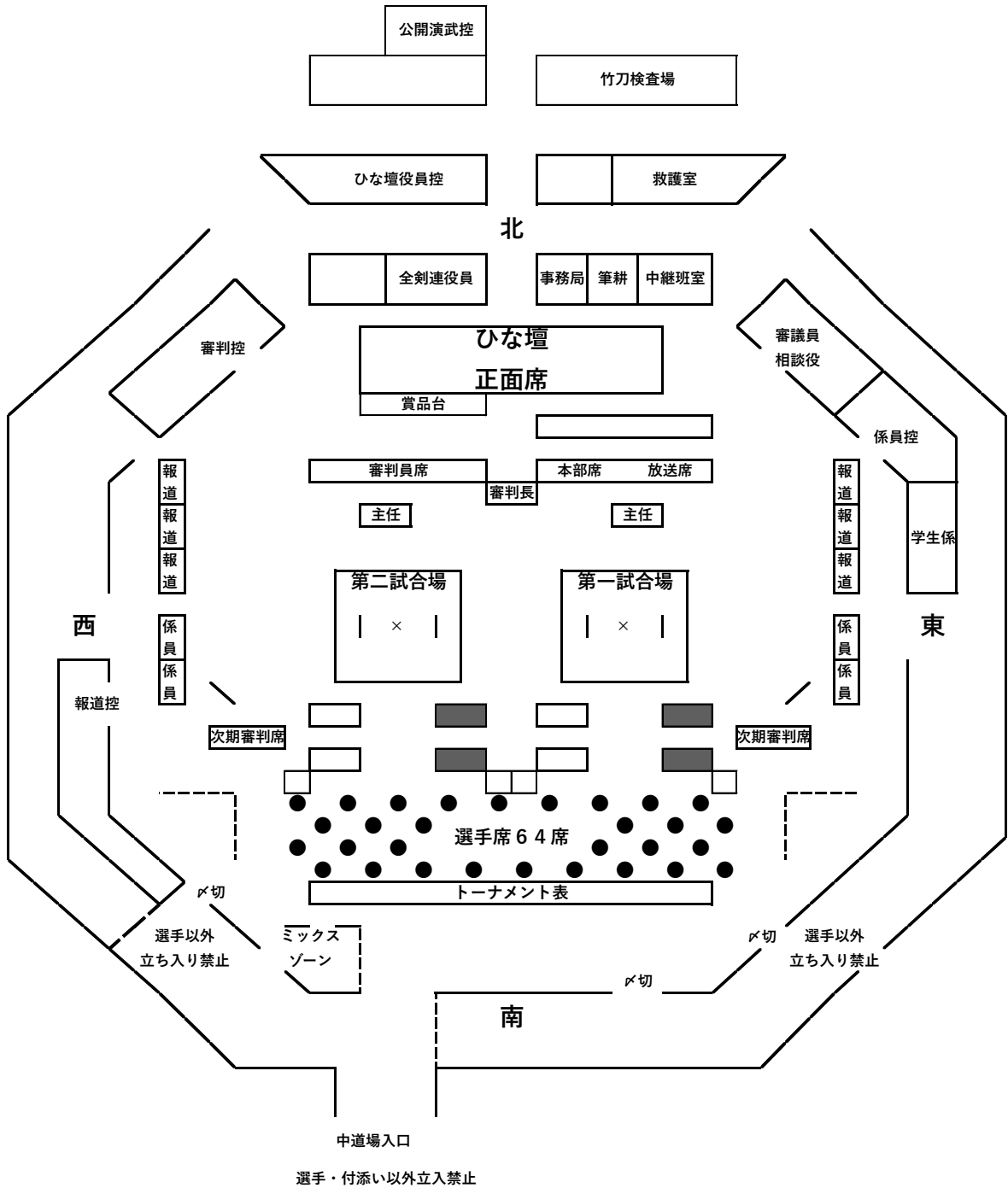
全剣連アンチ・ドーピング委員会

目次	
	ドーピングはどんなこと?
	ドーピングはなぜいけないの?
	剣道でドーピング検査はあるの?
	ドーピングをした人はどんなバツを受けるの?
	サプリメントに気をつけて

メ モ

[会場図]

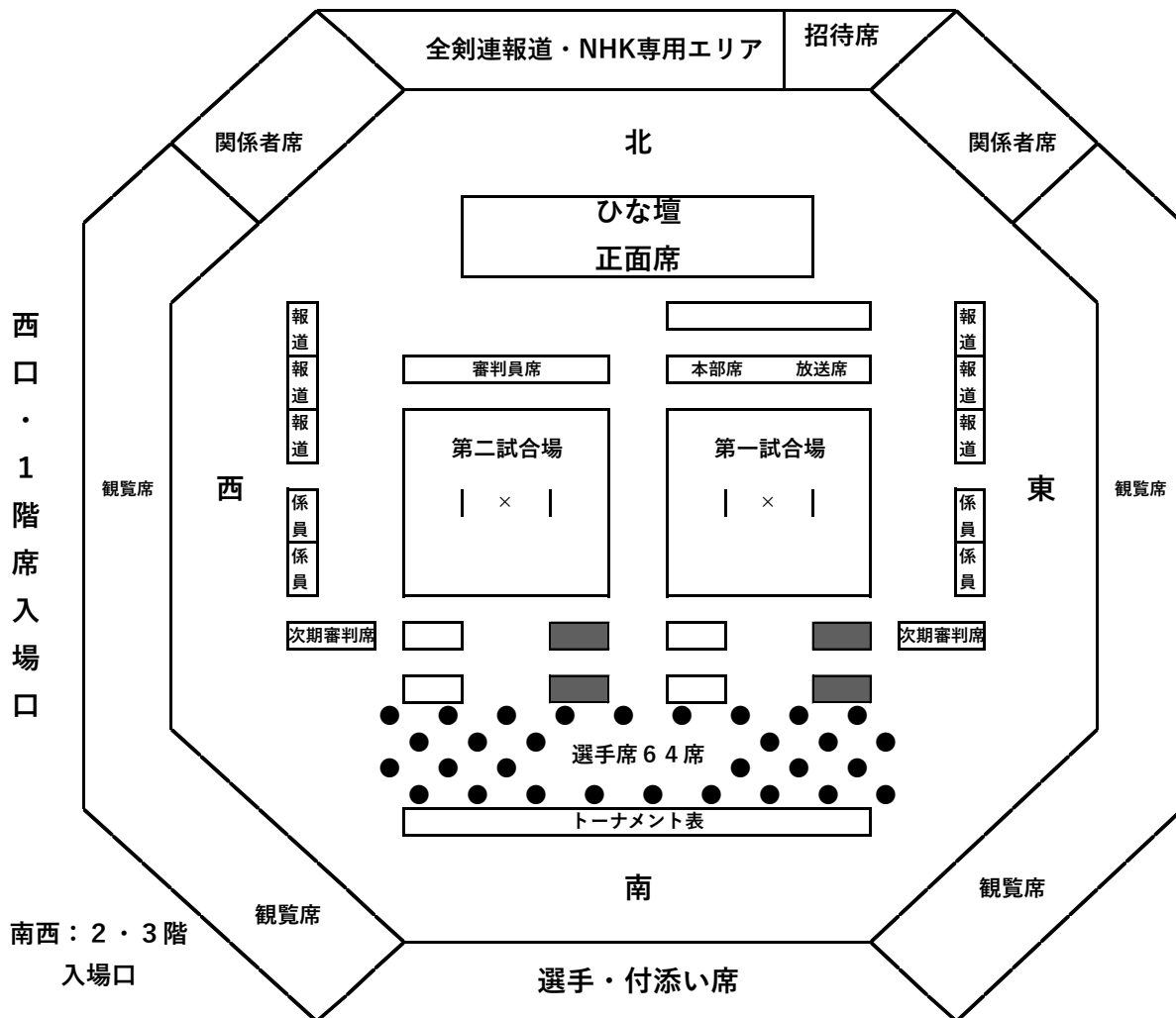
アリーナ階 試合場配置図



[会場図]

1階席配置図

北口：ひな壇役員・審判団受付/選手入場口



月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

私たちは《剣道》を応援しています



トヨタ自動車株式会社



